

**受講期間** 令和7～8年度の2年間

**一年次【基礎講座】** 令和7年5月～10月 計12回（月2回程度）

**二年次【発展講座】** 令和8年5月～12月 計12回（月2回程度）

いずれも原則、木曜日午前9時30分～午前11時30分（館外学習は除く）

※2年間の受講が原則ですが、【基礎講座】のみ、または【発展講座】のみを受講することも可能です。二年次【発展講座】の募集は、令和7年度末頃にも再度行います。

**参加料** 1,000円/年（施設入場料等の、個人の消費に係る実費は別途）

**会場** 長岡市中央公民館 幸町2-1-1（館外学習は除く）

**応募条件** 以下の条件をすべて満たす方

- 1 カリキュラムのうち概ね2/3以上を受講できる見込みがある。
- 2 受講期間中または修了後に、コミュニティセンターや地区公民館の事業に協力する意志がある。

**募集人数**（60人程度）

- 1 地区推荐枠 50人程度（コミュニティセンター、地区公民館1～2人程度）
- 2 自己推荐枠 10人程度（選考） ※より地域活動に積極的な方を優先します。

**応募方法**

- 1 地区推荐により応募する場合  
申込書兼推荐書（様式1）を居住する地区のコミュニティセンター長又は地区公民館長に提出する。

締切 令和7年3月19日（水）

- 2 自己推荐により応募する場合  
(1) 申込書（様式2）を中央公民館長に提出する。

(2) 専用フォームから申し込む。 →



自己推薦  
申込フォーム

**受講決定** 3月下旬に中央公民館長が決定し、本人及び推薦施設に通知します。

**委嘱制度** 【基礎講座】、【発展講座】それぞれの課程修了後、原則としてご自身の地域のコミュニティセンター長または地区公民館長が「地域学びコーディネーター」として委嘱します。

委嘱後は、コミュニティ運営協議会等でご活躍いただくことができます。

**問合せ先**

- 1 事業に関すること  
長岡市中央公民館 〒940-0084 幸町2-1-1（さいわいプラザ3階）  
電話 0258-32-0437 FAX 0258-32-0561  
メール chu-kou@city.nagaoka.lg.jp

- 2 地区推薦に関すること  
居住する地区のコミュニティセンター又は地区公民館

## 第4期（令和7～8年度）

# 地域学びコーディネーター講座

コミュニティセンター、地区公民館等において、地域課題に対応した教育的事業を実践できる人材「地域学びコーディネーター」を育成します。地域に貢献したい方、地域活動の仲間をつくりたい方の応募をお待ちしています。



### 【学習内容】

当講座は、“地域課題に対応した教育的事業”の実践に役立つ、地域づくりや教育、福祉、防災等の様々な分野の知識を学びながら、受講者による講座の企画・運営を通し、地域課題対応力、実践力の獲得を重視した内容となっています。

“地域課題に対応した教育的事業”とは、例えば、高齢者の単身世帯が多い地域において、災害時の見守り体制の必要性・事例を紹介する講座を開催する等のことです。地域で必要な学習機会を提供することで、自主防災組織の活発化等、課題解決のための活動を広げることを目的とします。

- 分野：行政、教養、実務、事例（詳しくは次ページへ）
- 形態：講義、館外学習、受講者による講座の企画・運営

一年次【基礎講座】

令和7年5月～10月

計12回（月2回程度）

社会課題や地域課題に関係する様々なジャンルの講座の受講を通して、知識の習得及びコミュニケーション力を養います。

行政

行政から、地域学びコーディネーターに期待すること、コミセンの現状等を説明するとともに、様々な行政施策についても情報提供の機会を設ける。



地域における防災対策  
【中越市民防災安全士会】

教養

地域づくりや、社会課題一般について学習し、地域に必要な事業を考察するとともに、課題解決のヒントを得る。



ボランティアの輪を広めよう  
【長岡大学教授】



寿クリーンセンター視察  
【環境施設課】



子どもの育成を中核においた地域づくり  
【NPO みらいず works】

事例

コミュニティセンターの訪問等を通して、各地域が抱えている課題や、実際に行われている事業を学び、事業の企画・運営の参考にする。



コミュニティセンター訪問（事業説明と座談会）  
【みしまコミセン】



遊びを通じた交流活動、子どもの居場所づくりの現場を見学  
【蔵王の杜 プレーパーク】

二年次【発展講座】

令和8年5月～12月

計12回（月2回程度）

講座作りに必要な知識、技術を習得し、自分たちで実際に講座を企画・運営します。コミセン事業や地域の課題解決などで“すぐに使える”実践力を養います。

実務

講座の作り方を学び、受講者が自ら講座を企画・運営する。地域住民を受講対象とするほか、受講者同士が互いの講座に参加する。



ファシリテーション手法を用いたグループワーク  
【NPO 法人 市民協働ネットワーク長岡】



思わず手にとるチラシの作り方  
【NPO 扉】

第3期（令和5～6年度）受講修了者の声

修了文集の原稿より抜粋

「アッという間の2年間、アップデート頑張ろう！」

2年間続けられるか心配しながらスタートした講座でしたが、終わってみるとアッという間でした。多くの人と知り合い、自分からは進んで参加しないであろう内容の講座から沢山のことを学び、現状維持がモットーの自分をちょっとだけ変えようかなと思いました。地域の方々が「今日行く（ところがある）、今日用（がある）」と思える場所づくりのお手伝いが出来たらと思います。まず手始めにコロナ禍で自然消滅したサークルの復活！！そのための仲間づくりから始めようかな。（Hさん）

「今後に活かしたい講座」

専門の方の話聞く事で興味関心が高まり視野を広げるきっかけとなりました。特にファシリテーション講座はあらゆる事に活用できる内容でした。古参の人や役職の高い人など発言力の高い人の意見に左右され、数人の意見で決まってしまうという光景が度々あります。活発な意見が出て、より良い地域になるための手伝いができるような、ファシリテーションの方法を身につけたいと思うようになりました。（Kさん）